

Ⅲ. 研究

9. 邦文誌編集委員会

委員長 小 澤 壯 治

1. 邦文誌（日本外科学会雑誌）について

日本外科学会雑誌は、年間6巻（通常号6巻）を発行している。その編集作業のため邦文誌編集委員会を6カ月に1度開催している。

また、令和4（2022）年3月までに第123巻第2号を会員に配本した。

2. 概要について

・通常号

- 1) 発行は、隔月（奇数月）とする。
- 2) 頁数は、基本的に1号あたり150頁程度とする。
- 3) 配本は、平成29（2017）年の第118巻より希望制を開始している。
- 4) 定価は、1冊あたり990円（税込）とする。

・臨時増刊号

- 1) 「定期学術集会日程号」は、令和2（2020）年より発行を取り止めた。

3. 掲載企画について

・依頼原稿

- 1) Editorial（編集委員による）
- 2) 会員へのメッセージ（各委員会の委員長から会員へ、委員会の現状や課題をテーマとした企画）
- 3) 先達に聞く（名誉会長や名誉会頭、名誉会員、特別会員、各編集委員・幹事の恩師などからの若手外科医に対する助言や過去の経験談をテーマとした企画）
- 4) 理想の男女共同参画を目指して（男女共同参画委員会と連携して、労働環境、キャリアパスなどの女性医師関連をテーマとした企画）
- 5) 若手外科医の声（概ね40歳以下の若手会員からの自由な内容をテーマとした企画）
- 6) 特集（編集委員による、主に各専門領域をテーマとした企画）
- 7) 会員のための企画（編集幹事による、会員に役立つような内容をテーマとした企画）
- 8) 医療訴訟事例から学ぶ（弁護士からの立場から過去の医療訴訟事例を解説した企画）
- 9) 手術のtips and pitfalls（編集幹事による、図を中心とした手術の工夫やコツをテーマとした企画）
- 10) 講演の記録（定期学術集会「特別企画」の記録を掲載する企画）
 - ※卒後教育セミナー（春季・秋季）、生涯教育セミナー（7地区）、臨床研究セミナー（春季・秋季）については、E-learning化に伴い、令和3（2021）年より掲載を取り止めた。
- 11) 卒後教育セミナーの講演要旨（卒後教育セミナー（秋季）の事前抄録を掲載する企画）
 - ※E-learning化に伴い、令和3（2021）年より掲載を取り止めた。
- 12) 特別寄稿（編集委員・幹事による臨時の企画）
- 13) 外科専門医試験問題解説（専門医認定委員会と連携して、10領域から毎号2問ずつ、「試験問題」と

「解説」を掲載する企画)

※令和3(2021)年発行の第122巻第1号より、掲載を取り止めた。

・一般投稿論文

- 1) 論文種別は、『会員からの寄稿』のみとする。
- 2) 投稿規定は、字数4,000字以内、図表点数4点以内(1点400字換算、字数に含む)とする。

・その他

- 1) 集談会記事(抄録は除く)を無料で受け付けている。
- 2) 理事会ニュース等の会告は、本会ホームページでの公開に一本化している。なお、必要と認められた会告については随時掲載することとしている。

4. 執筆料(謝金)、掲載料について

財務委員会と検討し、平成30(2018)年度より以下のとおりとしている。(全て税込)

・執筆料(謝金)

- 1) 会員は無料、非会員は30,000円。

・掲載料

- 1) 一般投稿論文は、33,000円(4頁以内)、超過分は1頁毎に16,500円。
(カラー掲載を希望する場合は別途、実費を徴収する。1頁あたり、約52,800円)
- 2) 有料会告(会告・学会案内・地方会案内など)は、22,000円。

5. その他について

・配本希望制

- 1) 配本、送料にあたっての会費以外の料金徴収はしない。
- 2) 配本を希望しない場合でも、会員はOnline Journalより閲覧が可能である。
- 3) 配本希望の申し出を受けた場合は、改めて配本中止の申し出があるまで、継続して配本する。
- 4) 途中で配本中止の申し出を受けた場合は、原則として翌年発行の巻から配本中止とする(当該年の第6号までは配本する)。
- 5) 配本を希望しなかった場合も、改めて配本希望の申し出があれば、その翌年発行の巻から配本する。

・「医療訴訟事例から学ぶ」の書籍販売

第104巻第6号(平成15年発行)から第116巻第6号(平成27年発行)までに掲載した87事例から47事例を抜粋し、平成28(2016)年4月から書籍(電子書籍を含む)として販売している。

なお、販売は全て出版社である株式会社杏林舎に委託している。

・転載許諾

- 1) 審査については、委員会にて定めた以下の規定に従い、原則委員長判断により許諾を判断する。規定外の申請については委員会にて審議し、決定する。

①転載先が下記のいずれかであること。

- ・学術・教育活動（論文、学会発表、業績集等を含む）
- ・医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等
- ・出版社等の印刷物・ウェブサイト等
- ・その他（委員会で認められたもの）

②転載点数が、1論文あたり原則として3点以内であること。

③修正がないこと。（原則的に図表を含めて修正は認めていない。）

④「日本外科学会雑誌第○巻第○号（○年）より転載」の一文が明記されていること。

その他の事項は、STM 出版ガイドラインに準ずる。

2) 転載料については、徴収することとし、転載料は以下のとおりとする。

種 別	転載料
1) 学術・教育活動（論文、学会発表、業績集等を含む）	無料
2) 医療関連企業等の印刷物・ウェブサイト等	55,000 円（媒体ごとに徴収）
3) 出版社等の印刷物・ウェブサイト等	55,000 円（媒体ごとに徴収）
4) その他（委員会で認められたもの）	原則、55,000 円

※税込とする。

※出版物で 5,000 部を超過する場合は、発行部数に応じて変動する。

ただし、ウェブサイトについては閲覧数等を問わないこととする。

・ Online Journal

令和 2（2020）年度より、論文以外の有料会告・集談会記事等（企業広告、外科専門医試験問題解説を除く）も公開している。

なお、第 121 巻より会員、非会員問わず閲覧できるようにしている。ただし、最新巻は会員のみ閲覧できることとする。

・ 過去の日本外科学会雑誌の Online Journal 化

現在は 2005 年の第 106 巻から閲覧可能だが、会員の学術的な利便性を高めるため、過去の第 1 巻（明治 33/1900 年）から第 105 巻までも閲覧できるよう準備を進めている。準備にあたり「著者の許可は必要か」、および「患者情報が記載されていた場合はどうすればよいか」などの問題が挙がったが、以下の 1) 2) のように対応することとした。なお、公開は第 105 巻から順次遡って公開していく予定である。

1) 著者の許可

現在ホームページ、および日本外科学会雑誌にて、資料 1 の「日本外科学会雑誌のインターネット上での公開に伴う著作権の取り扱いについて」をオプトアウト方式で掲載している（期限：本年 5 月末日）。また、メールニュースでも告知済みである。

2) 患者情報が記載されていた場合

会員であれば本会ホームページから会員ログインし、論文中の患者情報などを悪用しない旨を誓約させた上で、さらに閲覧するためのパスワードを別途付与する仕組みにして二段階認証とする。また、ダウンロードのログを記録することとする。非会員であれば事務局に閲覧の申し込みをする。

・ 複写権委託

一般社団法人学術著作権協会には、冊子版、ならびに電子版の複写権を管理委託している。

- ・出版物の寄贈

国立国会図書館に、冊子版のみ納入している。

- ・年間購読料

臨時増刊号「定期学術集会日程号」の発行取り止めに伴い、令和2（2020）年の年間購読料（全6冊）から5,720円（税込）に引き下げた。

資料 1

日本外科学会雑誌のインターネット上での公開に伴う著作権の取り扱いについて

令和 4 年 2 月

会員・非会員各位

一般社団法人日本外科学会では、現在、日本外科学会雑誌を創刊号から電子化し、随時インターネットで公開する予定であります。

公開するにあたり、著者よりこれらの刊行物の著作権の委譲を受けていることが必要ですが、古い著作物につきましては、必ずしも全著者と著作権委譲についての明確な文章を交わしているわけではありません。

本来は、著作権が消滅している著作物を除く全ての著作物に対し、個々に著作権委譲の有無を確認すべきところではありますが、約 120 年に上る著作物の著者に連絡を取り、了承を得ることは現実的に難しい状況です。

そこで、本会では、当該著作物の著作権者の方々に本会への著作権委譲について、ご了承を得られたものとして、公開を進めております。

もし、ご了承をいただけない場合は、令和 4 年 5 月末日までに日本外科学会事務局までお申し出いただきますようお願い申し上げます。

期限までにお申し出のない場合は、ご了承いただけたものとして、公開させていただきます。

しかし、期限後でもこの告知を知る機会がなかったなどの理由で、該当者からお申し出があれば、あらためてご説明ご相談させていただきます。

なにとぞ、ご協力の程お願い申し上げます。

10. 英文誌編集委員会

委員長 海野 倫明

1. 英文誌 (Surgery Today) について

本誌は、年間12冊、電子ジャーナルを含めて約40,000部を発行している。令和3(2021)年中に880編の投稿があった。同年発行の第51巻には241編が掲載され、令和3(2021)年の採用率は25.1%であった。

平成23(2011)年11月よりOnline Firstでの出版を開始している。Online Firstの出版により号の出版を待たずに論文ごとの電子版の出版が可能となり、入稿から掲載までの期間は約1ヶ月となっている。Online Firstに掲載された論文は、電子版出版は正式な出版と認められておりDOI (Digital Object Identifier) のコードにより、頁なしでも引用可能である。2021年のOnline Firstの出版による論文数は、Original: 186編、How To Do It: 9編、Review Article: 26編、Short Communication: 4編、Others: 8編となっている。

2. Guideline 掲載について

令和3(2021)年1月発行のVol.51-1号からGuidelineというカテゴリーを設けて、必要に応じて他学会のガイドラインを掲載している。これまでに日本外科感染症学会から「The Japan Society for Surgical Infection: guideline for the prevention, detection, and management of gastroenterological surgical site infection, 2018」を掲載した。

3. National Clinical Database (NCD) 年次報告の活用について

Impact Factorの向上に寄与するようNCDから毎年本学会に提供されているAnnual Reportを論文化することが決まり、掲載準備を進めている。

4. Surgery Today Table of Contents について

平成28(2016)年2月よりSpringerへ会員のメールアドレスを提供しており、オプト・アウト方式で会員各位に毎月配信を行っている。

5. Impact Factor について

令和2(2020)年のImpact Factor (IF)は、自己引用率も7%にもかかわらず、過去最高の2.549となった。

6. Best Reviewer Award について

選出方法はCompletedの上位5名をルールとし、授賞後5年間は再授賞できないルールに従って、令和3(2021)年度の授賞者を決定する。

7. 研究奨励賞のリニューアルについて

平成18(2006)年に研究助成委員会が廃止され、本委員会が研究奨励賞の授賞者選定を引き継ぐこととなった。令和3(2021)年度から研究奨励賞の名称を「Surgery Today 優秀論文賞 (Best Surgery Today Award)」とし、分野も一般・小児、消化管、呼吸器、乳腺・甲状腺、心臓血管、肝胆膵・移植の6分野

として、授賞者を決定する。

8. 領域別リーダーズについて

令和2（2020）年度に Impact Factor（IF）の向上に向けて、森正樹理事長に決定頂き、立ち上げられた。その会議の大きな活動報告としては、IF に貢献した論文を表彰することで、IF 向上につながるのではないかとということとなり Citation Award を新設することを本委員会で検討し、新設された。

9. Citation Award の新設について

対象論文については、その年の IF の対象論文とする。令和4（2022）年の IF 対象論文は、平成31/令和元（2019）～令和2（2020）年に出版された論文すべて（原著・総説を含む）とする。

- ・上位5名とする。
- ・賞金5万円とする。
- ・賞状または盾の授与などについて優秀論文賞（旧研究奨励賞）を参考にする。

10. その他

その他 Impact Factor 向上に向けて実施した内容については、次のとおりである。

- ・AEが自身の担当した論文の引用回数を意識してもらうよう編集委員会にて確認した。（Original Article の4分の1が引用0であった。）
- ・Surgery Today の投稿や査読を代議員立候補の条件とすることについては、内閣府公益認定等委員会の指導により義務化できないため、選挙広報の項目の一つとして、有権者の判断の一助にしてもらうようにした。

掲載原稿種別表

年次	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
巻数	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
投稿数	102	142	164	131	151	179	197	208	275	268	322	339	419	443	439	438
掲載数	89	83	76	87	119	116	119	120	107	206	222	211	212	245	281	271
採用率（%）	87.3	58.5	46.3	66.4	78.8	64.8	60.4	57.7	38.9	76.9	68.9	62.2	50.5	55.3	65.5	61.9
Editorial	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	1
Review	4	12	4	6	5	7	6	1	7	1	5	5	3	2	1	1
Original	77	60	44	47	71	59	67	67	59	107	106	101	82	120	102	100
Case Report	0	12	19	25	33	44	38	47	37	89	93	88	99	97	152	145
Short Communication	5	7	9	6	6	2	7	5	3	7	8	5	9	9	6	9
How to do it	3	1	0	3	4	1	1	0	1	2	10	12	7	10	11	14
Others	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	12	0	0	1
Impact Factor							0.21	0.223	0.188	0.163	0.118	0.171	0.209	0.233	0.303	0.379

年次	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
巻数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
投稿数	424	509	607	667	623	566	926	948	1099	1232	1165	1245	1525	1408	1059	728	709	658	800	796	1123	880
掲載数	239	247	243	214	238	216	231	235	231	220	217	314	226	256	381	244	195	198	145	179	206	242
採用率（%）	56.4	48.5	40.0	32.1	43.9	38.2	24.9	24.7	21.0	17.8	18.6	25.2	14.8	18.2	36.9	25.0	21.8	21.2	17.4	23.2	25.5	23.9
Editorial	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
Review	4	2	3	0	8	13	5	10	11	19	37	30	13	24	36	32	29	20	13	43	43	28
Original	97	86	88	76	102	102	102	75	85	74	76	108	93	130	215	136	158	167	115	119	140	186
Case Report	129	142	146	134	113	91	109	137	120	106	91	161	102	74	108	63	0	0	0	0	0	0
Short Communication	2	6	2	2	2	1	1	2	6	4	2	5	3	5	3	1	0	2	3	2	7	3
How to do it	7	11	4	2	13	8	10	10	5	15	7	9	13	14	8	10	8	8	8	12	12	17
Others	0	0	0	0	1	4	1	3	2	2	0	2	7	11	2	0	1	6	3	12	8	8
Impact Factor	0.356	0.480	0.501	0.528	0.553	0.478	0.698	0.679	0.804	1.050	1.057	1.224	0.963	1.208	1.526	1.329	1.745	2.501	2.077	1.878	2.549	

投稿数内訳																						
Original	149	166	196	222	174	146	232	264	297	366	357	416	542	524	478	540	560	524	644	588	834	714
Others	275	343	411	445	449	420	671	683	807	873	809	887	983	884	581	188	149	134	156	208	289	166

Impact Factorの予想値

2022.3.01

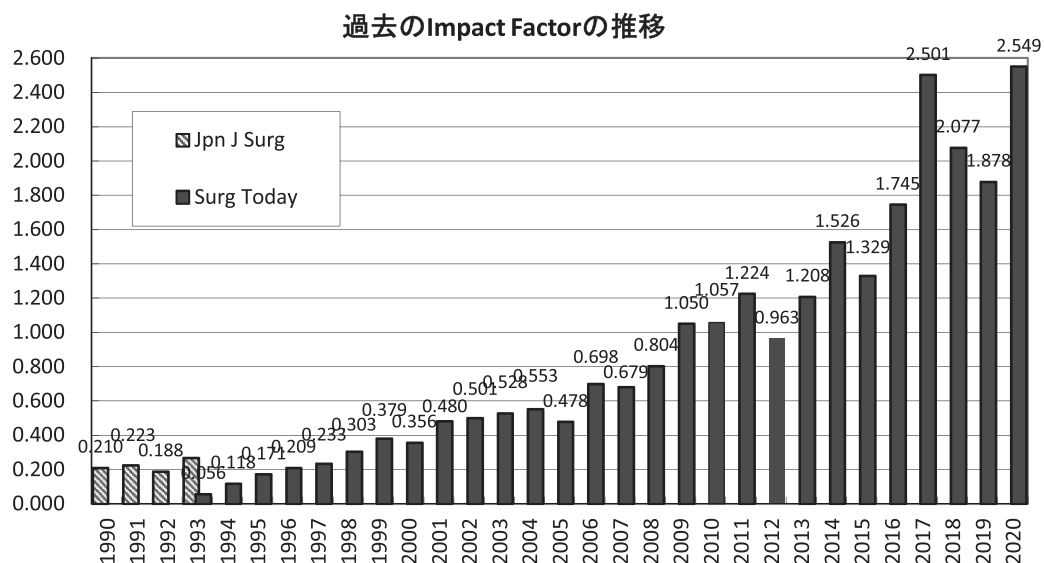
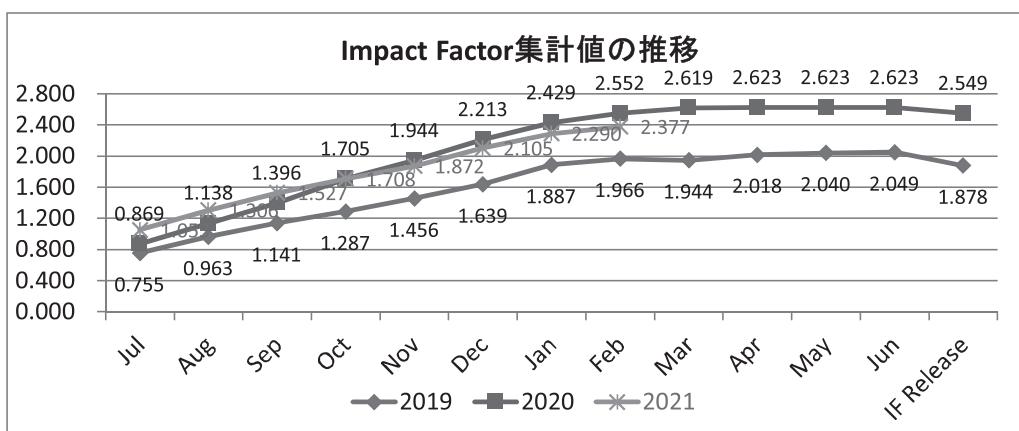
(2019年の号掲載論文と2020年のオンライン出版論文が
2021年のオンライン出版論文に引用された回数)

2021年のImpact Factor -----

(2019年の号掲載論文と2020年のオンライン出版論文数)

2021年のImpact Factor (2/01現在の集計値):

$$= (1041) / (132 + 306) = 2.377$$



Surgery Today

ScholarOne Manuscripts™ 論文投稿・審査状況報告

2021 年 12 月 31 日現在

1. 論文種類別 投稿数（投稿日による集計）

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
Case Report	849	753	409	2						
Clinical Original	481	465	423	485	511	474	579	533	758	648
Experimental Original	72	56	56	65	51	48	66	55	76	66
How To Do It	49	38	48	50	55	49	52	63	98	60
Invited Review Article	12	8	11	8	12	5	9	13	9	2
Letter to the Editor	9	9	13	4	9	15	7	9	12	6
Other	4	3	19	12						
Review Article	56	47	50	62	45	39	54	74	107	74
Short Communication	15	15	30	49	27	26	34	22	63	24
総計	1574	1394	1059	737	710	656	801	769	1123	880
月平均	129	116	88	61	59	55	67	66	94	73

※ 取り下げられた論文（Withdrawn）は含まない

2. 論文種類別 判定結果と採択率（最終判定日による集計）

	2019			2020			2021		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Case Report									
Clinical Original	111	424	20.7 %	189	537	26.0%	172	496	25.7%
Experimental Original	8	45	15.1%	17	55	23.6%	16	51	23.9%
How To Do It	12	52	18.8%	16	80	16.7%	10	48	17.2%
Invited Review Article	13	0	100%	9		100.0%	2	1	66.7%
Letter to the Editor	3	5	37.5%	7	7	50.0 %	4	2	66.7%
Review Article	30	49	38.0%	31	70	30.7%	20	56	26.3%
Short Communication	2	18	10.0%	7	56	11.1%	3	23	11.5%
総計	179	593	23.2%	276	805	25.5%	227	677	25.1%

3. 地域別 投稿数（投稿日による集計）

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
Africa	10	9	11	16	14	8	12	12	21	14
Americas	51	43	42	21	22	15	19	8	36	27
Asia	599	483	402	207	206	170	266	260	407	309
Europe	277	259	172	136	104	112	125	122	149	98
Japan	606	596	430	355	363	350	378	344	505	429
Oceania	4	4	2	2	1	1	1	3	5	3
総計	1547	1394	1059	737	710	656	801	769	1123	880

4. 地域別 判定結果（最終判定日による集計）

	2019			2020			2021		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Africa		11	0.0%		21	0.0%	2	12	14.3%
Americas	3	26	10.3%	8	26	23.5%	1	29	3.3%
Asia	12	246	4.7 %	37	358	9.4%	29	289	9.1%
Europe	9	113	7.4%	14	136	9.3%	5	90	5.3%
Japan	155	194	44.4%	216	260	45.4%	190	254	42.8%
Oceania		3	0.0%	1	4	20.0%		3	0.0%
総計	179	593	23.2%	276	805	25.5%	227	677	25.1%

5. カテゴリー別 判定結果（最終判定日による集計）

	2019			2020			2021		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Adrenal gland		6	0.0%					2	0.0%
Clinical Original		6	0.0%					2	0.0%
Experimental Original									
Anus		8	0.0%	1	3	25.0%	1	11	8.3%
Clinical Original		8	0.0%	1	3	25.0%	1	11	8.3%
Experimental Original									
Bile ducts/Gall bladder	2	17	10.5%	7	17	29.2 %	8	31	20.5%
Clinical Original	2	16	11.1%	7	15	31.8%	8	28	22.2%
Experimental Original		1	0.0%		2	0.0%		3	0.0%
Breast	3	9	25.0%	5	12	29.4%	3	23	11.5%
Clinical Original	3	9	25.0%	5	11	31.3 %	3	22	12.0%
Experimental Original					1	0.0 %		1	0.0%
Cardiovascular	8	12	40.0%	8	17	32.0%	13	17	43.3%
Clinical Original	6	11	35.3%	6	13	31.6%	13	16	44.8%
Experimental Original	2	1	66.7%	2	4	33.3%		1	0.0%
Colon/Rectum	34	60	36.2%	43	68	38.7%	43	109	28.3%
Clinical Original	34	52	39.5%	41	65	38.7%	38	104	26.8%
Experimental Original		8	0.0%	2	3	40.0%	5	5	50.0%
Esophagus	6	12	33.3%	12	11	52.2%	8	12	40.0%
Clinical Original	6	11	35.3%	11	10	52.4%	8	12	40.0%
Experimental Original		1	0.0%	1	1	50.0%			
Liver	8	14	36.4%	13	35	27.1%	15	47	24.2%
Clinical Original	8	13	38.1%	11	32	25.6%	13	41	24.1%
Experimental Original		1	0.0%	2	3	40.0%	2	6	25.0%
Lung/Mediastinum	18	32	36.0%	27	53	33.8%	24	65	27.0%
Clinical Original	18	25	41.9%	25	53	32.1 %	22	58	27.5%
Experimental Original		7	0.0%	2		100.0%	2	7	22.2%

	2019			2020			2021		
	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率	Accept	Reject	採択率
Others	8	40	16.7%	26	77	25.2%	19	79	19.4%
Clinical Original	7	37	15.9%	21	58	26.6 %	17	66	20.5%
Experimental Original	1	3	25.0%	5	19	20.8%	2	13	13.3%
Pancreas	14	9	60.9%	20	17	54.1%	16	32	33.3%
Clinical Original	13	7	65.0%	19	16	54.3%	14	27	34.1%
Experimental Original	1	2	33.3%	1	1	50.0%	2	5	28.6%
Pediatric surgery	4	15	21.1%	7	15	31.8%	10	13	43.5%
Clinical Original	2	12	14.3%	6	13	31.6%	10	12	45.5%
Experimental Original	2	3	40.0%	1	2	33.3%	0	1	0.0%
Plastic surgery	1	15	6.3%	1	13	7.1%	1	13	7.1%
Clinical Original	0	11	8.3%	1	11	8.3%	1	11	8.3%
Experimental Original	1	4	0.0%	0	2	0.0%	0	2	0.0%
Portal hypertension		2	0.0%		1	0.0%		2	0.0%
Clinical Original		2	0.0%		1	0.0%		2	0.0%
Experimental Original									
Stomach/Duodenum	12	18	40.0%	34	41	45.3%	26	64	28.9%
Clinical Original	10	14	41.7%	33	39	45.8%	24	60	28.6%
Experimental Original	2	4	33.3%	1	2	33.3%	2	4	33.3%
Thyroid/Head and neck		9	0.0%	2	15	11.8%	1	9	10.0%
Clinical Original		8	0.0%	2	14	12.5%		8	0.0%
Experimental Original		1	0.0%		1	0.0%	1	1	50.0%
Vascular	1	2	33.3%		13	0.0%		13	0.0%
Clinical Original	1	2	33.3%		11	0.0%		11	0.0%
Experimental Original					2	0.0%		2	0.0%

以上

11. Case Report 誌編集委員会

委員長 碓 氷 章 彦

1. 出版契約について

Surgical Case Reports は、平成 27（2015）年 1 月 17 日に創刊し、7 年目に入った。

令和 2（2020）年 8 月 17 日より、掲載料（Article Publishing Charge）を著者負担分 230 ユーロから 460 ユーロ（日本円約 60,000 円）へと変更した。論文の投稿状況は、令和 3（2021）年 669 編となり、著者負担分を増額しても、影響を受けておらず、特にこの 2 年間は、今までの 400 編台から 600 編台となっており、増加の傾向をたどっている。

2. 契約本数について

年間の契約掲載数は、著者負担を 460 ユーロ（日本円約 60,000 円）に変更した結果、250 編程度が可能となった。

3. 令和 4（2022）年優秀論文賞（Best Surgical Case Reports Award）について

隔年に優秀論文賞を選定することとなっているので、令和 4（2022）年に選定する予定となっている。基準については、Citation 数 1 回～6 回/Download 数 600 回以上を条件としている。今回は、令和 2（2020）年から令和 3（2021）年末に出版された論文を対象とする。

4. Best Reviewer Award 選定について

Surgery Today と同様に、一度授賞した先生は、5 年間授賞できないとの方針に従い、既に授賞された先生を除き、第 5 回 Best Reviewer Award を決定する。

5. ジャーナルについて

ジャーナルタイトル：Surgical Case Reports

出版形式：オンラインジャーナル、オープンアクセス出版

出版頻度：年 1 巻（採用順にオンライン出版）

掲載内容：Case Report, Letter to the Editor

出版開始：2015 年 1 月 17 日

出版費用：Article Publishing Charge（APC）

2020 年 8 月 17 日（月）投稿分より本学会会員は

掲載料 460 ユーロ（日本円約 60,000 円）

非会員は 1,250 ユーロ

電子投稿査読システム Editorial Manager

(<https://www.editorialmanager.com/sucr/default1.aspx>) より投稿

投稿に関する詳細については Submission Guidelines（投稿規定）

<https://surgicalcasereports.springeropen.com/submission-guidelines> を参照

Surgical Case Reports
論文投稿・審査状況報告

2021 年 12 月 31 日

1. 論文種類別 投稿数 (投稿日による集計)

Article Type	2014 Total	2015 Total	2016 Total	2017 Total	2018 Total	2019 Total	2020 Total	2021 YTD
Case Report	118	479	400	421	407	442	689	667
Letter to the Editor	0	3	0	0	1	4	0	2
Editorial	2	0	0	0	0	0	2	0
Total	132	504	413	421	408	446	691	669

月別投稿数

Month	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Total
2020	45	45	76	69	89	77	55	52	53	42	35	51	689
2021	64	72	77	62	51	58	60	44	44	37	48	52	669

2. 国別 投稿数 (投稿日による集計)

Corresponding Author's Country	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
JAPAN	62	256	358	376	354	358	591	522
UNITED STATES	6	18	4	5	8	11	23	21
INDIA	14	73	16	3	2	7	5	11
IRAN	1	4	0	1	1	7	5	10
CHINA	4	6	1	4	5	6	13	9
ITALY	4	12	1	2	0	2	3	6
SAUDI ARABIA	0	5	0	3	3	2	4	6
AUSTRALIA	4	8	2	2	7	1	4	5
SUDAN	0	0	0	1	1	0	0	5
SYRIAN ARAB REPUBLIC	0	0	3	2	2	4	0	5
TURKEY	6	21	2	2	2	2	1	5
CANADA	0	6	0	0	1	0	0	4
GERMANY	0	2	2	1	1	4	6	4
TAIWAN	0	0	0	1	0	2	0	4
UNITED KINGDOM	1	9	5	0	1	3	5	4
MOROCCO	1	2	2	3	2	2	3	3
NORWAY	0	0	0	0	0	0	0	3
ALGERIA	0	1	0	0	0	0	0	2
BELGIUM	0	2	1	0	0	0	0	2
BRAZIL	0	2	2	1	0	1	1	2
CROATIA	0	0	0	0	0	0	0	2
DENMARK	0	0	0	0	0	0	0	2
GREECE	1	3	0	0	1	2	0	2
QATAR	0	0	0	0	0	0	0	2
SWITZERLAND	0	0	0	0	0	0	3	2
THAILAND	0	1	0	0	0	0	0	2
ARGENTINA	0	0	0	0	0	0	0	1
BENIN	0	0	0	0	0	1	0	1
COLOMBIA	1	1	0	0	1	2	1	1

FRANCE	0	3	1	0	0	0	0	1
GHANA	0	0	0	0	0	1	0	1
HAITI	0	0	0	0	0	0	0	1
INDONESIA	0	1	0	0	0	0	0	1
IRELAND	0	2	1	0	0	0	1	1
ISRAEL	0	0	0	0	0	0	0	1
KAZAKHSTAN	0	0	0	0	0	0	1	1
LATVIA	0	0	0	0	0	0	0	1
MALAYSIA	0	4	0	0	0	0	0	1
MEXICO	0	1	1	0	0	1	1	1
NEPAL	0	0	0	1	2	0	0	1
NIGERIA	0	0	0	0	0	0	0	1
POLAND	1	0	0	0	0	0	1	1
RUSSIAN FEDERATION	0	1	0	0	0	8	0	1
SINGAPORE	1	6	1	0	0	1	2	1
SOMALIA	0	0	0	0	0	0	0	1
SPAIN	1	9	2	0	0	0	1	1
SRI LANKA	0	1	0	1	0	1	0	1
TUNISIA	1	1	1	3	2	1	1	1
VIET NAM	0	0	0	1	0	1	0	1
YEMEN	0	0	0	0	0	0	1	1

2021年に投稿を受け付けた国、地域数：50 カ国 (2020 年は 31 カ国)

2021 年全投稿に占める日本からの投稿の割合：78% (2020 年は 85%)

3. 論文種類別 判定結果と採択率 (最終判定日による集計)

Year	Article Type	Case Report	Letter to the Editor	Editorial	Total
2015	Accept	114	1	0	115
	Reject	349(237)	2(1)	0	351
	Accept Rate	24.60%(50.4%)	33.30%	NA	24.70%
2016	Accept	156	0	0	156
	Reject	243(147)	0	0	243
	Accept Rate	39.10%(61.9%)	NA	NA	39.10%
2017	Accept	128	0	0	128
	Reject	290(234)	0	0	290
	Accept Rate	30.60%(69.60%)	NA	NA	30.60%
2018	Accept	144	1	0	145
	Reject	174 (69)	0	0	174
	Accept Rate	45.5%(59.2%)	NA	NA	45.5%
2019	Accept	221	1	0	222
	Reject	203	2	0	205
	Accept Rate	52.1%	33%	NA	51.9%
2020	Accept	315	2	0	317
	Reject	301	0	0	301
	Accept Rate	51.1%	100%	NA	51.3%
2021	Accept	248	0	0	248
	Reject	365	1	0	366
	Accept Rate	40.4%	0%	NA	40.39%

4. 国別 採択数 (最終判定日による集計)

Author's Country	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
JAPAN	13	105	146	126	139	209	300	231
USA	0	0	2	1	1	4	6	6
CHINA	0	0	0	0	0	0	2	2
TAIWAN	0	0	0	0	0	1	0	2
CANADA	0	0	0	0	0	0	0	1
GERMANY	0	0	2	0	1	1	1	1
GREECE	0	0	0	0	0	0	0	1
PAKISTAN	0	0	0	0	0	0	0	1
SRI LANKA	0	0	0	0	0	0	0	1
SWITZERLAND	0	0	0	0	0	0	0	1
SYRIAN ARAB REPUBLIC	0	0	0	0	0	0	0	1

2021年に採択された論文の投稿があった国、地域数：11カ国(2020年は11カ国)

2021年：全採択論文に占める日本からの投稿の割合：93.1%(2020年は94.6%)

5. 国内・外 判定結果と採択率（最終判定日による集計）

		JAPAN	Overseas	Total
2015	Accept	105	10	115
	Reject	139	212	351
	%Accept	43.0%	4.50%	24.70%
2016	Accept	146	10	156
	Reject	196	47	243
	%Accept	42.7%	17.50%	39.10%
2017	Accept	126	2	128
	Reject	254	36	290
	%Accept	33.2%	5.30%	30.60%
2018	Accept	139	6	145
	Reject	146	28	174
	%Accept	48%	17.64%	45.45%
2019	Accept	209	13	222
	Reject	159	46	205
	%Accept	56%	22%	51.9%
2020	Accept	300	17	317
	Reject	251	50	301
	%Accept	54.4%	25.3%	51.3%
2021	Accept	231	17	248
	Reject	265	101	366
	%Accept	46.6%	14.4%	40.4%

6. 審査日数（最終判定日による集計）

項目	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
投稿～Accept までの平均日数	105.0 days	92.4 days	89.7 days	90.65days	85.9 days	75 days	75 days
投稿～Reject までの平均日数	17.8 days	21.6 days	9.8 days	17.62days	25.2days	32days	31days

各 editorial stage での平均所要日数(全論文対象)

項目	From submission to 1 st decision	From 1 st to final decision	From submission to final decision
----	---	--	-----------------------------------

2017	16.3 days	17.86 days	35.23 days
2018	28.79 days	23.66 days	52.15 days
2019	29.55 days	26.56 days	55.64 days
2020	28.30 days	26.0 days	54.31 days
2021	29.03 days	20.09 days	49.12 days

7. カテゴリー別 投稿数（投稿日による集計）

Category	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
Adrenal gland	1	8	4		1	2	2	9
Anus	3	5	4	5		6	6	5
Bile ducts/Gall bladder	3	34	20	23	27	18	32	35
Breast	3	22	8	19	14	9	23	16
Cardiovascular	4	28	32	26	25	34	40	56
Colon/Rectum	23	71	45	48	50	38	72	67
Emergency	19	92	46	43	37	27	66	73
Esophagus	4	18	9	16	9	15	26	23
Genetics			2	2	3	5	6	5
Liver	5	26	23	42	21	30	39	44
Lung/Mediastinum	12	38	34	39	26	18	45	69
Medical Oncology		1	21	17	18	26	21	36
Pancreas	4	17	16	41	19	29	35	37
Pathology		6	29	26	14	24	29	38
Pediatric surgery	6	18	12	24	10	17	20	31
Plastic surgery	7	20	9	5	7	9	16	13
Portal hypertension		3	3		1	1	4	2
Radiation Therapy			4	2	6	2	7	4
Stomach/Duodenum	9	55	32	34	33	44	50	45
Thyroid/Head and neck	4	20	8	4	8	6	13	16
Vascular (peripheral/vein)	9	24	18	19	15	14	25	36

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

カテゴリー別 採択数（判定日による集計）

Category	2017		2018		2019		2020		2021	
	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率	採択数	採択率
Adrenal gland	2	100%		0%	1	50%		0%		0%
Anus	2	29%	2	67%	1	14%	4	33%	5	50%
Bile ducts/Gall bladder	8	27%	4	11%	22	55%	23	34%	16	35%
Breast	6	24%	9	33%	7	47%	19	31%	13	43%
Cardiovascular	8	25%	12	30%	19	38%	13	19%	18	27%
Colon/Rectum	15	23%	32	38%	41	53%	64	34%	51	46%
Emergency	10	19%	19	30%	34	56%	38	28%	41	41%
Esophagus	15	50%	14	50%	19	56%	30	37%	13	38%
Genetics	2	50%	2	40%	1	17%		0%	4	44%
Liver	23	37%	25	54%	28	46%	48	38%	37	46%
Lung/Mediastinum	20	34%	21	36%	40	75%	35	32%	37	40%
Medical Oncology	18	51%	11	37%	14	34%	26	36%	19	36%
Pancreas	13	25%	12	34%	23	48%	37	35%	28	45%

Pathology	15	38%	23	61%	16	42%	30	37%	24	41%
Pediatric surgery	5	20%	5	29%	14	45%	19	35%	17	43%
Plastic surgery	1	20%	5	38%	3	25%	3	15%	2	15%
Portal hypertension	1	50%	1	50%	1	100%	4	33%	1	33%
Radiation Therapy	3	60%	2	25%	2	50%	1	14%	5	71%
Stomach/Duodenum	18	34%	14	28%	33	42%	54	36%	38	47%
Thyroid/Head and neck	2	33%	3	27%	3	30%	6	27%	6	38%
Vascular (peripheral/vein)	5	24%	5	23%	16	50%	11	24%	11	24%

※1 論文で複数のカテゴリーを選んでいる場合は全てのカテゴリーをカウント

12. 臨床研究推進委員会

委員長 宇 山 一 朗

令和3（2021）年度は、委員会（持ち回り委員会）を11月に開催し、臨床研究助成の選考の検討を行った。

1. 臨床研究助成について

「日本外科学会臨床研究助成」（500万円×1件）と「若手外科医のための臨床研究助成」（100万円×5件）の評価方法を検討した。

【日本外科学会臨床研究助成】

- ・従来通り、委員全員で1題採択した。

【若手外科医のための臨床研究助成】

- ・申請者が申請された分野に基づき、令和3（2021）年度から分野毎の委員に依頼し、複数の分野に跨る課題の場合は、該当するすべての分野の委員に依頼し、1次審査を行った。その後、各課題の平均点数を算出した上で、上位10課題と、上位10課題に含まれなかった分野の評価第1位の3課題を対象に、最終選考を行い、5課題を選定し、委員全員で5題採択（最終審査）した。
（分野毎の諾否ではないため、授賞は選択分野に影響されない旨記載している）

2. 令和3（2021）年度臨床研究助成「日本外科学会臨床研究助成」、及び「若手外科医のための臨床研究助成」の授賞者について

令和3（2021）年度臨床研究助成「日本外科学会臨床研究助成」（500万円×1件）、及び「若手外科医のための臨床研究助成」（100万円×5件）の選考を行い、以下の6課題を選考した。授賞式は、第122回定期学術集会の3日目にあたる令和4（2022）年4月16日（土）に執り行う。なお、この授賞式のセッションには、これまでの臨床研究助成授賞者の成果発表も組み込んでおり、令和5（2023）年度以降も継続していく予定である。

【日本外科学会臨床研究助成】（JSS Clinical Investigation Project Award）授賞者 1名

- ・秋吉 高志（がん研究会有明病院消化器センター大腸外科）
「進行下部直腸癌に対する待機療法に関する多施設ランダム化第Ⅱ相試験および待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析」

【若手外科医のための臨床研究助成】（JSS Young Researcher Award）授賞者 5名（五十音順）

- ・河野 幹寛（九州大学大学院消化器・総合外科）
「M2マクロファージを標的とした特発性肺線維症合併肺癌の新規治療戦略の開発」
- ・永田 健（防衛医科大学校外科学講座医学研究科）
「癌関連線維芽細胞を標的とした新たな治療薬開発のための基盤研究」
- ・三上 拓真（札幌医科大学医学部心臓血管外科学講座）
「冠動脈バイパス術におけるグラフト周囲脂肪組織が開存率に与える影響についての研究」
- ・森 治樹（滋賀医科大学外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科）
「リン酸化プロテオーム解析に基づく肝臓癌の新規分子標的治療薬の探索」

- ・八重樫瑞典（岩手医科大学外科学講座）

「Digital PCR による ctDNA モニタリングを用いた大腸癌遠隔転移切除症例の予後予測因子の検討」

3. 臨床研究セミナー（E-learning）について

臨床研究セミナーの重要性を鑑み、令和3（2021）年度も E-learning で配信した。

原則として、臨床統計に関する講義×30分と、臨床研究の実践に関する講義×30分をセットとして、計60分という内容にする（専門医制度の共通講習の1単位分に該当）。

また、これまで日本臨床外科学会との共催で参集形式にて開催していた秋季開催分については、共催を取り止めて本会の E-learning で配信することを日本臨床外科学会でも検討いただき、了承いただいた。

なお、これまで臨床研究セミナー内で行っていた各種授賞式や成果発表については、本会定期学術集会上で臨床研究推進委員会セッションを設けていただき、第122回定期学術集会から執り行うこととなった。

【令和3（2021）年度配信】

- ・臨床統計

山口 拓洋（東北大学大学院医学系研究科医学統計学分野、東北大学病院臨床試験データセンター）

- ・外科領域における研究デザイン～ランダム化比較試験とリアルワールドデータ研究～

錦織 達人（京都大学医療安全管理部/消化管外科）

4. NCD データを活用した臨床研究について

NCD データを活用した臨床研究は、複数の領域のデータベースを横断したプロジェクトの場合は、当該領域の学会の了承を得た上で、共同研究として NCD に申請することとなっている。将来的に研究課題が増えれば、その手続きが煩雑となり、負担が掛かることになるので、複数の領域に跨る共同研究を出来る限りスムーズに行えるような包括的な枠組みを構築するために、平成28（2016）年度より、NCD データを利用した複数領域で行う研究の審査窓口は、本委員会に、各領域の学会と NCD の代表者が加わった拡大的な組織（NCD 臨床研究推進委員会）が務めることとし、その審査結果を各領域の学会に持ち帰って検討してもらい、2か月以内を目途に回答してもらう方針を採ることとした。

令和3（2021）年度募集したところ、本会より「新型コロナウイルス感染（COVID-19）のパンデミックが日本の外科手術に与えた影響」と「NCD を用いた従来型抗凝固薬（Vitamin K agonist）と新規抗凝固薬内服外傷患者の出血/輸血必要量の検討」の2件の申請があり、日本小児外科学会より「成人手術の Learning curve から推定される小児外科医の症例経験数の充足割合の検討」の1件の申請がなされ、各領域の学会にデータ利用の承諾の可否について検討依頼中である。

5. 日本医学会からのアンケートの件

日本医学会より、「日本医学会 COI 管理ガイドライン（一部改定案）」、「日本医学会 138 分科会における医学研究に係る利益相反（COI）対応の現状アンケート」、「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン第2版（案）」のアンケートの依頼があり、関係する委員会と協力しながら対応した。

1) 利益相反委員会

委員長 宇 山 一 朗

本委員会は、外科研究の利益相反に関する指針に基づき、役員等から提出された利益相反自己申告書の管理、利益相反自己申告書に対して、疑義もしくは社会的・法的問題が生じた場合の対応等を目的としている。

役員等の利益相反自己申告書対象 237 名全員から提出され、特に問題が生じるものはなかった。

役員等の利益相反自己申告書は本学会事務所に厳重に管理している。

1. Surgery Today の Conflict of Interest Form について

本会英文誌編集委員会からの諮問を受けて、法的観点なども踏まえて審議を行った結果、負担軽減のために共著者 (Co-author) を含む全著者からの Conflict of Interest Form (以下、COI Form) の提出を省くことは、やはり推奨できず、また、責任著者 (Corresponding author) が共著者の COI Form を取りまとめて提出するという案も、責任著者の負担を考慮すると望ましくないため、まずは COI Form から署名欄 (Signature) を削除して、電子メールの送受信をもって本人確認を行うことで簡便化を図り、その他の手続きは現行どおりとするという旨を英文誌編集委員会に答申した (出版委託業者の Springer Nature 社にも問題がないことを確認済み)。

2. 「役員等の利益相反自己申告書」について

「外科研究の利益相反に関する指針」に従って提出してもらうにあたり、顧問弁護士より自筆でなくても支障がない旨の指導を受けたので、必要に応じて日本医学会連合や関連学会などと連携を図りながら、Web システム化する方針とした。

13. 国際委員会

委員長 湊 谷 謙 司

1. 外国人名誉会員について

新外国人名誉会員として、第 1 号議案で報告のあった Christopher Ellison 先生と Sung Hoon Noh 先生を推薦した。

なお、本会の外国人名誉会員としてのクオリティ保持を目的として、推薦規定「本会への貢献度」について、令和 4 (2022) 年度より、具体的な条件を追加することとした。

2. 若手外科医の学術交流制度 (旅費給付) について

American College of Surgeons (ACS) と German Society of Surgery (GSS) とは、それぞれの学術集会にお互いの学会から推薦のあった若手外科医を 1 名ずつ招聘し、学術発表の機会を与える交流を行っている。

【ACS】

本会から ACS への出席予定者

→田中 真之 正会員（川崎市立川崎病院外科）

ACS から本会定期学術集会への出席予定者

→ Daniel I-Hsin Chu 先生

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響を受け、令和2（2020）年度より中断しているが、次回の現地開催時には交流を再開する予定である。

【GSS】

本会から GSS への出席予定者

→奥野 将之 正会員（京都大学肝胆膵・移植外科）

GSS から本会定期学術集会への出席予定者

→ Sven Arke Lang 先生

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響を受け、令和2（2020）年度より中断しているが、次回の現地開催時には交流を再開する予定である。

3. 各国際学会代表講演について

本会定期学術集会で各学会の代表者の講演を行っているが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大の影響により来日が困難なことから、第122回定期学術集会では、代表者によりビデオにて講演いただくこととなった。

【American College of Surgeons（ACS）】Julie A. Freischlag 先生

【German Society of Surgery（GSS）】Hauke Lang 先生

【Society of University Surgeons（SUS）】Sandra Wong 先生

【Royal College of Surgeon（RCS）】Neil Mortensen 先生

【College of Surgeons of East, Central and Southern Africa（COSECSA）】Jane Odubu Fualal 先生

【The Association of Surgeons of India（ASI）】G. Siddesh 先生

なお、2014年より交流を続けていたBritish Journal of Surgery（BJS）については、学会内規の変更に より交流継続が困難になったとの申し出が先方からあったため、本学会への招待を取りやめることとした。

4. Society of University Surgeons（SUS）との交流について

Society of University Surgeons（SUS）と Association for Academic Surgery（AAS）の合同年次総会である Academic Surgical Congress（ASC）では、本会から10演題が受け入れられており、国際委員会が交流の窓口となっている。昨年度に引き続き、本年度も、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により見送られた。なお、当会会員のASC学術集会への参加費は本会で負担することとしている。

5. ドイツ外科学会との交流について

ドイツ外科学会とはお互いの学術集会において、ジョイントシンポジウムを開催している。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により、2020年度に予定していた本シンポジウムを延期し、2022年度に実施予定であったが、再開の目途が立たないため、本シンポジウムを一旦白紙とし渡航再開後に改めて本シンポジウムを検討することとした。

6. 英国外科学会 International Surgical Training Programme（ISTP）について

ISTPは英国のRoyal College of Surgeonが運営しており、英国以外の若手外科医師が英国各地の病院の外科、外傷外科、救急を含む様々な診療科で臨床研修が出来る制度である。

第1期生（平成29年）の中では、田村 亮 正会員（高島市民病院外科；小児外科）がIELTSをクリアし、NewCastle大学（The Great North Children Hospital）での研修を開始している。

IELTSをクリアしているものの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により研修先の選考が遅れている以下の第2期生（平成30年）と第3期生（平成31年）の7名については、RCS事務局とWebミーティングを実施するなどして、早急に手続きを進めていただくよう働きかけている。

平岩 伸彦 正会員（東京大学心臓外科）

杉本 卓哉 正会員（熊本赤十字病院国際医療救援部 外科・小児外科）

西村 公男 正会員（大和高田市立病院外科）

佐藤 力弥 正会員（虎の門病院消化器外科）

北田 智弘 正会員（大阪市立大学小児外科）

遠藤 睦子 正会員（Radboud University Medical Center Surgical Oncology）

関岡 明憲 正会員（静岡県立こども病院小児外科）

※第4期生（2名）は、IELTSのクリアを目指している。第5期生は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により公募をしなかった。

7. アフリカとインドとの交流について

将来計画委員会「国際化推進」ワーキンググループにおいて、アフリカとインドを中心とした国際交流促進が検討され、アフリカのCOSECSAとインドのASIの会長を本会定期学術集会に招待することを開始している。

また、COSECSAとASIについては、各学会から選出された若手外科医3名に本会がトラベルグラントを支給し発表の機会を提供する予定であるが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により昨年度から引き続き延期となった。Travel grant受賞予定者は次の通り。

【COSECSA】

Precious Mutambanengwe 先生

Orgeness Mbwambo 先生

Christophe Mpirimbanyi 先生

【ASI】

Reshma Balachandran 先生

Priyanka Saha 先生

Nidhin Punathil Narayanan 先生